

リバースピール

リバースピールについて

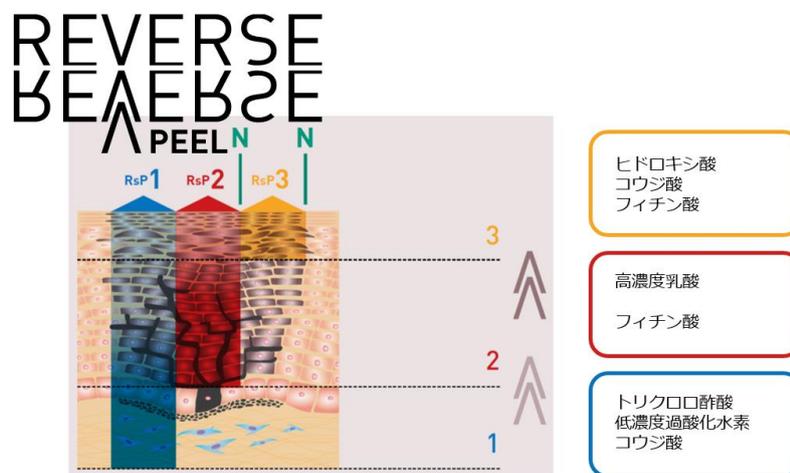
リバースピールは、コラーゲンピール（マッサージピール PRX-T33）に肝斑に効果的な成分を追加したピーリング剤です。



肝斑の治療は、刺激の強いレーザー治療では逆効果になってしまうこともあります。

リバースピールは3段階に分けて薬剤を浸透させるため、表皮角質層に作用する一般的なピーリング剤よりも奥の真皮から治療でき、肝斑を改善させます。

コラーゲンピール（マッサージピール）と同様に肌への負担も少なく、ダウンタイムもほとんどありません。



禁忌事項

以下の内容に該当する場合は、施術をお受けいただくことができません。

- ・炎症のある皮膚
- ・皮疹またはヘルペス発疹
- ・過敏性肌

- ・皮膚炎（アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎）
- ・妊娠中および授乳中である
- ・各成分に対するアレルギーがある
- ・光線過敏症
- ・アルコール過敏症
- ・アートメイク箇所（色が薄くなる可能性があります）

注意点

施術前後1週間前後は使用を中止してください。

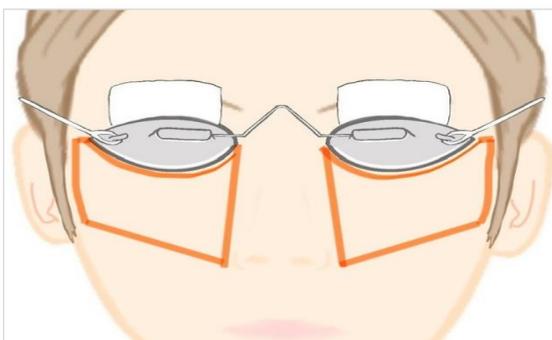
- ・トレチノイン
- ・ハイドロキノン
- ・ニキビ治療薬
- ・ピーリング効果のある石鹸と化粧品

施術の流れ

所要時間はおよそ30分間です

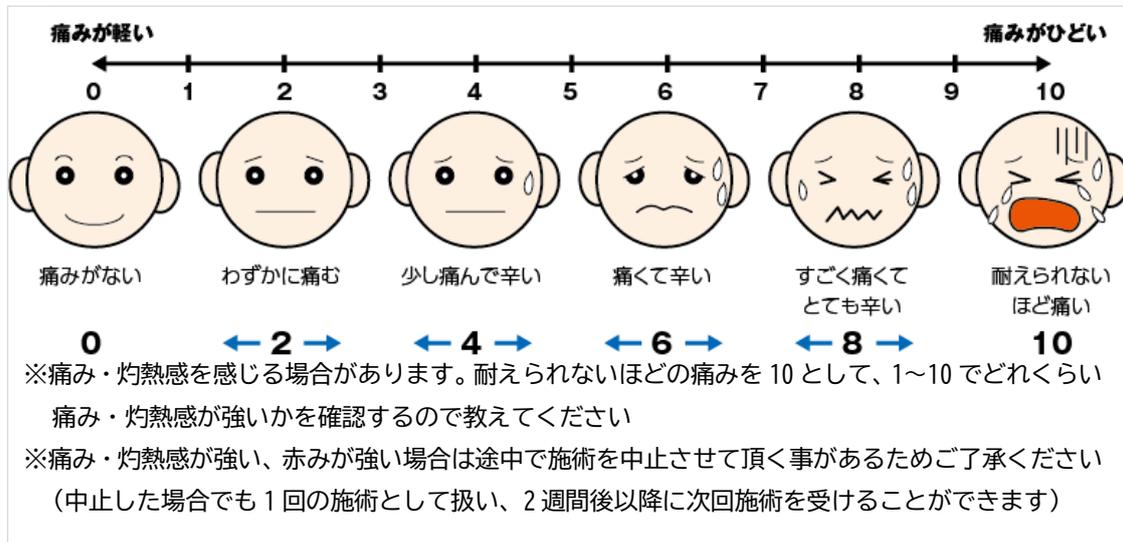
施術中はアクセサリーを外して施術をお受けいただきます。（変色の可能性があります。）

- ① 両ほほのお化粧（化粧水、日焼け止めを含む）をクレンジングシートで拭き取らせていただきます。
- ② 肝斑部分のマーキングを行い、経過を診るために写真を撮らせていただきます。



高さ = ゴーグルの下から鼻の高さまで
横幅 = 鼻の周りからもみあげの前まで水平
※鼻や髪の毛には薬剤を塗布できないため、
少し離してマーキングを行います

- ③ 薬剤が目に入らないようにゴーグルで保護します。
- ④ 1～3剤を順番に塗布・拭き取りを行います。(薬剤の説明は次の項目をご参照ください)
(2・3剤については中和剤を塗布してから拭き取りを行います)



- ⑤ 最後にライトニングセラムを塗布します。(薬剤の説明は次の項目をご参照ください)
- ⑥ 保湿液、日焼け止めを塗布します。

使用する薬剤

1剤 (真皮層)

【リバースピール1 = PRX-T33】

薬剤を浸透させるために、優しくお肌をマッサージします。

成分であるTCA(トリクロロ酢酸)、過酸化水素が皮膚の深い部分に浸透するに従い、多少のピリピリ感や熱感を感じるがありますが、特に問題ありません。

PRX-T33に含まれるTCAが過酸化水素とコウジ酸を皮膚の奥(真皮層)まで届けます。

過酸化水素はメラニンを酸化し、コウジ酸がメラニン生成を抑制します。

2剤 (表皮最深層)

【リバースピール2 = 高濃度乳酸ピーリング】

高濃度の乳酸で表皮のピーリングを行い表皮深部に存在するメラニンを除去します。

配合されているフィチン酸はメラニンの生成に関わる鉄 (Fe) をキレート化します。

3 剤 (表皮層)

【リバースピール3 = ヒドロキシ酸ピーリング】

多種の混合ヒドロキシ酸 (サリチル酸、グリコール酸、マンデル酸) + コウジ酸、フィチン酸で**表皮層を改善**させます。

ライトニングセラム

メラニン抑制・肝斑やしみの予防と改善

【有効成分】

- ・トラネキサム酸、ラクトフェリン、フェルラ酸、ニコチンアミド、グラブリジン、A-リポ酸



施術後の注意点

- ◇ 施術後、数日間は軽度の赤みや皮剥けが生じることがあります。
- ◇ 施術後は乾燥しやすい状態となっておりますので保湿はこまめに行ってください。
- ◇ 日焼け止めを使用して紫外線対策を十分に行い、日焼けは避けてください。
- ◇ 皮剥け、かさぶたができた場合は落屑するまで剥さないでください。無理に剥すと色素沈着や癬痕の原因になることがあります。
- ◇ お肌に異常がなければ、治療当日より洗顔やお化粧が可能ですが、擦らないようにしてください。

ノーリス (IPL)

ノーリス (IPL) について

当院で使用の米国キャンデラ社製のノーリス (Nordlys) は、国内で初めて光治療器において皮膚色素性疾患として薬事承認を取得した機器です。

Intense Pulsed Light

広帯域の波長を発振することが可能なキセノンフラッシュランプを

用いた光治療のこと = 光をエネルギーとして用いた光治療

IPL (Intense Pulsed Light = インテンス・パルス・ライト) という特殊な光を肌に照射することで、肌トラブルの原因であるメラニン色素や毛細血管にダメージを与えシミやそばかす、くすみ、ニキビ・ニキビあと、赤ら顔などの肌悩みを総合的にケアできる治療法です。

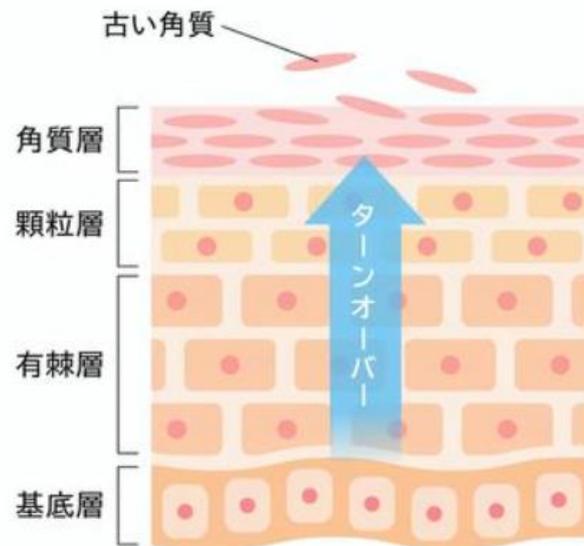
また、真皮層のコラーゲンの産生を促し肌のハリ・血管を改善し、肌の内側から美肌へと導きます。

照射後の肌のダメージが少なく、ダウンタイムもほぼありません。施術後すぐにメイクもできる手軽さから、はじめてシミ治療を行う方や、レーザー治療に抵抗がある方、日常生活に支障なく治療したい方に人気です。

施術の間隔

当院では、皮膚のターンオーバー (注①) に合わせて各施術の間隔を1か月と設定しております。同じ施術の場合も、異なる施術の場合も必ず1か月の間隔を空けていただきます。

注① ターンオーバー



古い表皮細胞は新しい表皮細胞によって角層へと押し上げられ、性質を変えながら角質という死んだ細胞になり、垢(あか)となってはがれ落ちていきます。この表皮細胞が生まれて角層から垢としてはがれるまでの過程を「ターンオーバー」と呼びます。ターンオーバーは通常、約28~40日で繰り返されます。

禁忌事項

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ・ペースメーカーや植え込み式除細動器を使用中である、または重篤な心疾患に罹患している
- ・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある
- ・免疫抑制を引き起こす疾患に罹患している、または免疫抑制剤使用中である
- ・光線過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中である
- ・光線過敏症発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往（注②）
- ・ケロイド体質である
- ・発熱している、または全身状態が芳しくない
- ・金製剤を用いて治療中である
- ・出血性疾患に罹患している、または抗凝固薬を内服中である
- ・妊娠中である、また妊娠の可能性がある

注② 光線過敏症

光線過敏症は文字通り、光線を照射することにより、過敏な症状が肌に現れることを言います。

例えば腫れや発疹、赤み、水ぶくれ等、症状は様々です。

薬剤により光線過敏症を誘発するケースも少なくありません。誘発起因としては、一定量の薬に対して日光を浴びる時間の関係により、薬剤性光線過敏症と呼ばれる症状がみられることがあります。

また、服用により肌のバリア機能が低下している場合、照射エネルギーにより赤みや炎症を生じやすくなってしまいます。

なお、光線過敏症にも個人差があり、なる方、ならない方に分かれます。

光線過敏症に因果関係があるとされている薬剤種は次の通りです。

- ・抗ヒスタミン配合の塗り薬
- ・抗不安薬
- ・三環系抗鬱剤
- ・向精神薬
- ・抗生物質
- ・キノロン系抗菌薬
- ・抗がん剤
- ・降圧剤
- ・ケトプロフェン成分を含む湿布（剥がした後も4週間程度は光に当てないように）

治療を行えない部位

- ・シリコンや金属プレート等の人工物を埋め込み済み部位

- ・ 感染性の皮膚疾患、または切開創・開放創・炎症・化膿部位
- ・ 悪性腫瘍直上、単純ヘルペス1型・2型の活動病変上
- ・ 3か月以内のレーザーリサーフェイシング、酸度の強いケミカルピーリング施術部位
- ・ 刺青・アートメイク部位

施術により考えられる副作用 硬毛化

硬毛化とは、レーザーや光での治療で施術前より太く硬い毛が生えてくる現象のことです。

硬毛化が起こると、施術後は毛が増えたように感じる場合があります。しかし、毛穴の数は決まっているため実際に増えているわけではありません。

家庭用施術機器でも起こりうる現象です。

<原因>

原因ははっきりとわかっていませんが、以下のように考えられています。

- ・ 毛がダメージから回復する過程で太くなる
- ・ 毛周期が伸びたことで濃い毛が生えやすくなった
- ・ 光機器の使用により発毛組織が活性化した

<硬毛化になりやすい人の特徴>

- ・ 体毛が薄い人

産毛はレーザー機器に対する反応が弱く、ダメージを与えるはずのところを反対に毛根が活性化してしまうために、硬毛化しやすいのです。

- ・ 毛根が皮膚の深い場所にある人

毛根の位置が深いほど、レーザーが届きにくくなります。うまく照射できなかった場合、逆に発

毛組織を活性化させてしまうおそれがあります。

- ・体毛の密度が高い人

毛が密集している部位にレーザーを照射すると、レーザーのエネルギーが均等に当たらずに、きちんと照射できていないムダ毛が出てくる場合があります。照射が不十分な毛は、硬毛化してしまう可能性も高くなります。

- ・ピルを内服している人

<硬毛化しやすい部位>

- ・肩
- ・背中
- ・お尻
- ・二の腕
- ・襟足（うなじ）
- ・フェイスライン

<硬毛化になる確率>

世界規模のデータでは7~8%ですが、日本のクリニック統計では1%程度で、硬毛化になりやすい人は「100人に1人」の割合です。

世界と日本の統計でこれだけ差があるのは、統計時に使用していたレーザーの違いや、毛質や肌質に違いがあるからだと考えられます。欧米人に比べ日本人の毛は黒くメラニン色素が濃いため、硬毛化のリスクは世界統計よりも低いとされています。

<硬毛化した場合の一般的な対処法>

- ・自然に治るまで照射しない

自然と毛の生え変わりのサイクルを待つことで徐々に薄くなるのを待ちます。しかし、時間の経過を待っても硬毛化が治らないケースもございます。放置した結果、元の毛に戻ります。硬毛化した毛が脱毛されるわけではございません。

- ・照射の出力を上げる

硬毛化した毛かどうか見分けるときは、「周囲の毛と比較して、一部分だけ他の毛と比べて硬く濃くなっているか」を確認してください。毛質が明らかに違う部分があれば、硬毛化している可能性が高いといえます。

硬毛化が疑われる場合は医師の診察を行いますので、看護師にご相談ください。

施術前の注意事項

- ・やけどを起こす可能性があるため、施術前後1か月間の日焼けは控えてください。
- ・施術前後3日間はトレチノイン、ハイドロキノン、ニキビ治療外用薬、ピーリング効果のある石鹸と化粧品のご使用を中止してください。
- ・施術部位の毛抜きは行わないでください。毛抜き中止から最低でも1か月は施術をお受けいただけません。

施術前準備

安全で効果的な施術をお受けいただくため**事前の剃毛**をお願いいたします。

剃毛が不十分な状態での照射はやけどのリスクを高めることになるため、十分な出力で照射することができません。

施術前日に、照射予定の部位を産毛も含めしっかりと剃毛してからご来院ください。

剃毛の目安

- ・ 目視で確認して全く毛がない状態
- ・ 触ってざらつきが全くない状態
- ・ 毛の長さは1ミリ以下



剃毛のポイント

✂ 電気シェーバーがおすすめです

カミソリは皮膚に直接触れて毛を剃るため、お肌の角質を一緒に剥がしてしまいます。

また、毛抜きなどで毛根ごと抜いてしまうと光が正常に反応せず、十分な効果を得ることができません。

そのため、安全に剃ることができる、電気シェーバーの使用をおすすめします。

✂ 毛足が長い場合は電気シェーバーの歯に絡まる可能性があるため、ハサミなどで短くして切ってから剃毛してください。

✂ シェーバーは小刻みに小さなストロークで使用すると剃りやすく、剃り残しや怪我のリスクも軽減できます。

✂ 剃毛後は保湿を行きましょう

剃毛後のお肌はデリケートな状態で、乾燥したり荒れたりすることがあります。

レーザーの照射に向けて、お肌のバリア機能を保つため、剃毛後はしっかりと保湿を行い、お肌内部の水分をキープしましょう。

施術当日

- ・ご予約時間に間に合うようご来院ください。
- ・電気シェーバーを必ずお持ちください。
- ・施術前に看護師がクレンジングを行います。通常のクレンジング剤では落ちにくいお化粧品はお控えください。
- ・化粧水、乳液、日焼け止めのご用意がございました。

施術後の注意事項と自己ケア

- ・治療当日はシャワー浴とし、熱いお湯を照射部位に直接かけないようにして下さい。
- ・治療当日は、多量の飲酒は避けて下さい。
- ・シミやそばかすなどは、照射直後～数日で濃く浮き出るものがあります。
洗顔や入浴を繰り返すことで、2週間程度で自然に脱落します。
無理に擦ったり、剥がしたりしないで下さい。
- ・炎症が引かず、痒みや熱傷等の症状を呈した時は受診をお願いいたします。
- ・治療期間は強い日焼けを避け、保湿剤や日焼け止め（SPF30以上）を使用して、スキンケアを

行って下さい。

レーザーフェイシャル

レーザーフェイシャルとは

当院で使用の米国キャンデラ社製ジェントルマックスプロ (GentleMax Pro)、ジェントルマックスプロプラス (GentleMax Pro Plus) は、厚生労働省の医療機器承認を取得したロングパルスアレキサンドライトレーザー機器です。

肌を傷つけずダウンタイムを生じないため、施術後お化粧することが可能です。

効果

◇ シミ・くすみの改善

メラニン色素に反応するレーザーですので、シミやくすみを改善し、美白・透明感のある肌へ導きます。

◇ 脱毛効果

毛根の色素にも反応し脱毛もできる施術です。産毛がなくなることで、肌のトーンアップを図ることができます。

◇ お肌にハリを与える効果

レーザー光が真皮に対して熱損傷を与えることで、真皮コラーゲン形成を促し、肌にハリを持たせます。

◇ ニキビ予防効果

レーザー光により脂腺が縮小され、またアクネが殺菌されることで、ニキビ予防や脂性肌が改善します。ニキビあとの色素沈着にもおすすめです。

・すべての効果において個人差があります。

・シミの種類によって薄くはなりますが、効果は限定的です。

冷却装置で表皮を保護しながらの照射のため表皮メラノゾームの強力な破壊にまではいたりません。

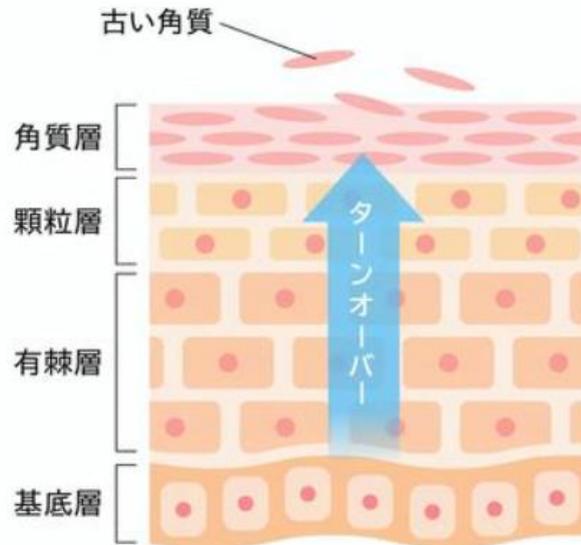
・シワ・肌質改善はマイルドな効果です。

強力な真皮層への照射ではないので即効性はありません。

施術の間隔

当院では、皮膚のターンオーバー（注①）に合わせて各施術の間隔を1か月と設定しております。同じ施術の場合も、異なる施術の場合も必ず1か月の間隔を空けていただきます。

注③ ターンオーバー



古い表皮細胞は新しい表皮細胞によって角層へと押し上げられ、性質を変えながら角質という死んだ細胞になり、垢(あか)となってはがれ落ちていきます。この表皮細胞が生まれて角層から垢としてはがれるまでの過程を「ターンオーバー」と呼びます。ターンオーバーは通常、約28~40日で繰り返されます。

禁忌事項

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ・ペースメーカーや植え込み式除細動器を使用中である、または重篤な心疾患に罹患している
- ・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある
- ・免疫抑制を引き起こす疾患に罹患している、または免疫抑制剤使用中である
- ・光線過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中である
- ・光線過敏症発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往（注②）
- ・ケロイド体質である
- ・発熱している、または全身状態が芳しくない

- ・ 金製剤を用いて治療中である
- ・ 出血性疾患に罹患している、または抗凝固薬を内服中である
- ・ 妊娠中である、また妊娠の可能性がある

注④ 光線過敏症

光線過敏症は文字通り、光線を照射することにより、過敏な症状が肌に現れることを言います。

例えば腫れや発疹、赤み、水ぶくれ等、症状は様々です。

薬剤により光線過敏症を誘発するケースも少なくありません。誘発起因としては、一定量の薬剤に対して日光を浴びる時間の関係により、薬剤性光線過敏症と呼ばれる症状がみられることがあります。

また、服用により肌のバリア機能が低下している場合、照射エネルギーにより赤みや炎症を生じやすくなってしまいます。

なお、光線過敏症にも個人差があり、なる方、ならない方に分かれます。

光線過敏症に因果関係があるとされている薬剤種は次の通りです。

- ・ 抗ヒスタミン配合の塗り薬
- ・ 抗不安薬
- ・ 三環系抗鬱剤
- ・ 向精神薬
- ・ 抗生物質
- ・ キノロン系抗菌薬
- ・ 抗がん剤

- ・ 降圧剤
- ・ ケトプロフェン成分を含む湿布（剥がした後も4週間程度は光に当てないように）

治療を行えない部位

- ・ シリコンや金属プレート等の人工物を埋め込み済み部位
- ・ 感染性の皮膚疾患、または切開創・開放創・炎症・化膿部位
- ・ 悪性腫瘍直上、単純ヘルペス1型・2型の活動病変上
- ・ 3か月以内のレーザーリサーフェイシング、酸度の強いケミカルピーリング施術部位
- ・ 刺青・アートメイク部位

施術により考えられる副作用 硬毛化

硬毛化とは、レーザーや光での治療で施術前より太く硬い毛が生えてくる現象のことです。

硬毛化が起こると、施術後は毛が増えたように感じる場合があります。しかし、毛穴の数は決まっているため実際に増えているわけではありません。

家庭用施術機器でも起こりうる現象です。

<原因>

原因ははっきりとわかっていませんが、以下のように考えられています。

- ・ 毛がダメージから回復する過程で太くなる
- ・ 毛周期（注③）が伸びたことで濃い毛が生えやすくなった
- ・ レーザー機器の使用により発毛組織が活性化した

<硬毛化になりやすい人の特徴>

- ・ 体毛が薄い人

産毛はレーザー機器に対する反応が弱く、ダメージを与えるはずのところを反対に毛根が活性化してしまうために、硬毛化しやすいのです。

- ・毛根が皮膚の深い場所にある人

毛根の位置が深いほど、レーザーが届きにくくなります。うまく照射できなかつた場合、逆に発毛組織を活性化させてしまうおそれがあります。

- ・体毛の密度が高い人

毛が密集している部位にレーザーを照射すると、レーザーのエネルギーが均等に当たらずに、きちんと照射できていないムダ毛が出てくる場合があります。照射が不十分な毛は、硬毛化してしまう可能性も高くなります。

- ・ピルを内服している人

<硬毛化しやすい部位>

- ・肩
- ・背中
- ・お尻
- ・二の腕
- ・襟足（うなじ）
- ・フェイスライン

<硬毛化になる確率>

世界規模のデータでは7~8%ですが、日本のクリニック統計では1%程度で、硬毛化になりやすい人は「100人に1人」の割合です。

世界と日本の統計でこれだけ差があるのは、統計時に使用していたレーザーの違いや、毛質や肌質に違いがあるからだと考えられます。欧米人に比べ日本人の毛は黒くメラニン色素が濃いため、硬毛化のリスクは世界統計よりも低いと言われています。

<硬毛化した場合の一般的な対処法>

- ・自然に治るまでレーザーを照射しない

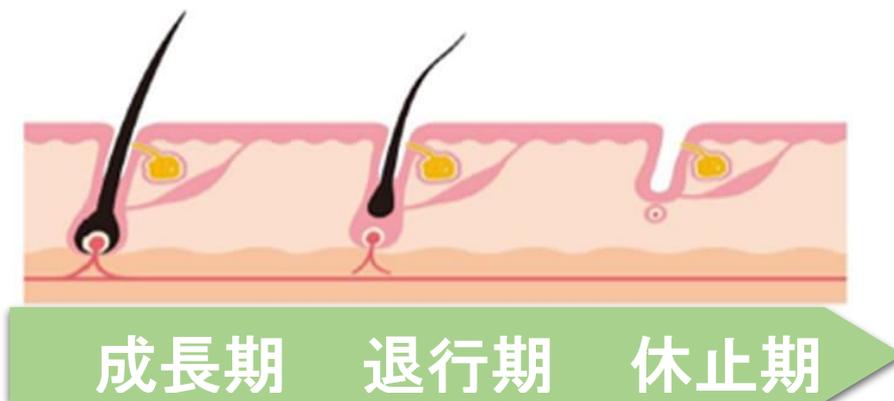
自然と毛の生え変わりのサイクルを待つことで徐々に薄くなるのを待ちます。しかし、時間の経過を待っても硬毛化が治らないケースもございます。放置した結果、元の毛に戻ります。硬毛化した毛が脱毛されるわけではございません。

- ・照射するレーザーの出力を上げる
- ・アレキサンドライトレーザーからヤグレーザーに変更する。

硬毛化した毛かどうか見分けるときは、「周囲の毛と比較して、一部分だけ他の毛と比べて硬く濃くなっているか」を確認してください。毛質が明らかに違う部分があれば、硬毛化している可能性が高いといえます。

硬毛化が疑われる場合は医師の診察を行いますので、看護師にご相談ください。

注①毛周期



新しい毛が生え始め、
毛が最も太く成長する
時期

毛根が毛を作る活動を
止め、段々毛が
衰えていく時期

毛根が完全に
毛を作る活動をやめ、
毛が抜け落ちる時期

髪の毛が自然に抜け落ちるようにヒトの体毛は成長期、退行期、休止期という生まれ変わりのサイクル＝毛周期を繰り返します。

毛周期の間隔は部位によって違い、また毛一本ごとにどの時期に当たるのかも異なっています。

一度の照射で反応するのはおおよそ1～2割の毛根です。

施術前の注意事項

- ・ やけどを起こす可能性があるため、施術前後1か月間の日焼けは控えてください。
- ・ 施術前後3日間はトレチノイン、ハイドロキノン、ニキビ治療外用薬、ピーリング効果のある石鹸と化粧品のご使用を中止してください。
- ・ 施術部位の毛抜きは行わないでください。毛抜き中止から最低でも1か月は施術をお受けいただけません。

施術前準備

安全で効果的な施術をお受けいただくため**事前の剃毛**をお願いいたします。

剃毛が不十分な状態での照射はやけどのリスクを高めることになるため、レーザーを十分な出力で照射することができません。

施術前日に、照射予定の部位を産毛も含めしっかりと剃毛してからご来院ください。

剃毛の目安

- ・ 目視で確認して全く毛がない状態
- ・ 触ってざらつきが全くない状態
- ・ 毛の長さは1ミリ以下



剃毛のポイント

✂ 電気シェーバーがおすすめです

カミソリは皮膚に直接触れて毛を剃るため、お肌の角質を一緒に剥がしてしまいます。

また、毛抜きなどで毛根ごと抜いてしまうとレーザーが正常に反応せず、施術の効果を得ることができません。

そのため、安全に剃ることができる、電気シェーバーの使用をおすすめします。

✂ 毛足が長い場合は電気シェーバーの歯に絡まる可能性があるため、ハサミなどで短くして切ってから剃毛してください。

✂ シェーバーは小刻みに小さなストロークで使用すると剃りやすく、剃り残しや怪我のリスクも軽減できます。

✂ 剃毛後は保湿を行いましょう

剃毛後のお肌はデリケートな状態で、乾燥したり荒れたりすることがあります。

レーザーの照射に向けて、お肌のバリア機能を保つため、剃毛後はしっかりと保湿を行い、お肌内部の水分をキープしましょう。

施術当日

- ・ご予約時間に間に合うようご来院ください。
- ・電気シェーバーを必ずお持ちください。
- ・施術前に看護師がクレンジングを行います。通常のクレンジング剤では落ちにくいお化粧品はお控えください。
- ・化粧水、乳液、日焼け止めのご用意がございました。

施術後の注意事項と自己ケア

- ・治療当日はシャワー浴とし、熱いお湯を照射部位に直接かけないようにして下さい。
- ・治療当日は、多量の飲酒は避けて下さい。
- ・シミやそばかすなどは、照射直後～数日で濃く浮き出るものがあります。
洗顔や入浴を繰り返すことで、2週間程度で自然に脱落します。
無理に擦ったり、剥がしたりしないで下さい。
- ・炎症が引かず、痒みや熱傷等の症状を呈した時は受診をお願いいたします。
- ・治療期間は強い日焼けを避け、保湿剤や日焼け止め（SPF30以上）を使用して、スキンケアを行って下さい。

レーザーシャワー

レーザーシャワーについて

当院で使用の米国キャンデラ社製 ジェントルマックスプロ (GentleMax Pro)、ジェントルマックスプロプラス (GentleMax Pro Plus)は、厚生労働省の医療機器承認を取得したロングパルスヤグレーザー機器です。

波長の長いレーザー（ヤグレーザー）を使用することで表皮にダメージを与えずに皮膚の内部（真皮）に熱による刺激を与え、以下のような効果を得ることができます。

- ・小ジワやたるみの改善
- ・毛穴開きの改善、きめを整える
- ・赤ら顔・肌の赤みの軽減
- ・ニキビの赤み・ニキビあとの改善

皮膚内に新しいコラーゲンや弾性繊維がはりめぐらされ、紫外線老化による小ジワやたるみを改善させ、頬をふっくらさせることができ健康的な肌の状態へ。

血中のヘモグロビンにも反応するため、余分な毛細血管を縮小させ頬の赤みも徐々に改善する効果があります。

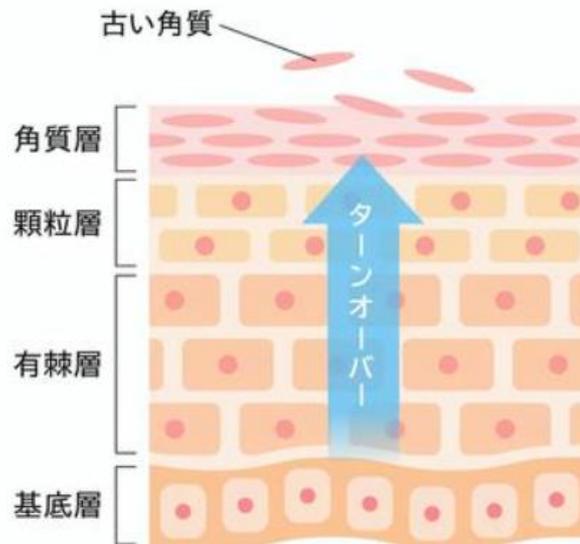
肌を傷つけずダウンタイムを生じないため、施術後お化粧することも可能です。

施術の間隔

当院では、皮膚のターンオーバー（注⑤）に合わせて各施術の間隔を1か月と設定しております。

同じ施術の場合も、異なる施術の場合も必ず1か月の間隔を空けていただきます。

注⑤ ターンオーバー



古い表皮細胞は新しい表皮細胞

ら角質という死んだ細胞になり、

垢(あか)となってはがれ落ちていきます。この表皮細胞が生まれて角層から垢としてはがれるまでの過程を「ターンオーバー」と呼びます。ターンオーバーは通常、約28~40日で繰り返されます。

禁忌事項

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ・ペースメーカーや植え込み式除細動器を使用中である、または重篤な心疾患に罹患している
- ・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある
- ・免疫抑制を引き起こす疾患に罹患している、または免疫抑制剤使用中である
- ・光線過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中である
- ・光線過敏症発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往（注②）
- ・ケロイド体質である
- ・発熱している、または全身状態が芳しくない
- ・金製剤を用いて治療中である
- ・出血性疾患に罹患している、または抗凝固薬を内服中である
- ・妊娠中である、また妊娠の可能性がある

注⑥ 光線過敏症

光線過敏症は文字通り、光線を照射することにより、過敏な症状が肌に現れることを言います。

例えば腫れや発疹、赤み、水ぶくれ等、症状は様々です。

薬剤により光線過敏症を誘発するケースも少なくありません。誘発起因としては、一定量の薬に対して日光を浴びる時間の関係により、薬剤性光線過敏症と呼ばれる症状がみられることがあります。

また、服用により肌のバリア機能が低下している場合、照射エネルギーにより赤みや炎症を生じやすくなってしまいます。

なお、光線過敏症にも個人差があり、なる方、ならない方に分かれます。

光線過敏症に因果関係があるとされている薬剤種は次の通りです。

- ・抗ヒスタミン配合の塗り薬
- ・抗不安薬
- ・三環系抗鬱剤
- ・向精神薬
- ・抗生物質
- ・キノロン系抗菌薬
- ・抗がん剤
- ・降圧剤
- ・ケトプロフェン成分を含む湿布（剥がした後も4週間程度は光に当てないように）

治療を行えない部位

- ・シリコンや金属プレート等の人工物を埋め込み済み部位

- ・ 感染性の皮膚疾患、または切開創・開放創・炎症・化膿部位
- ・ 悪性腫瘍直上、単純ヘルペス1型・2型の活動病変上
- ・ 3か月以内のレーザーリサーフェイシング、酸度の強いケミカルピーリング施術部位
- ・ 刺青・アートメイク部位

施術により考えられる副作用 硬毛化

硬毛化とは、レーザーや光での治療で施術前より太く硬い毛が生えてくる現象のことです。

硬毛化が起こると、施術後は毛が増えたように感じる場合があります。しかし、毛穴の数は決まっているため実際に増えているわけではありません。

家庭用施術機器でも起こりうる現象です。

<原因>

原因ははっきりとわかっていませんが、以下のように考えられています。

- ・ 毛がダメージから回復する過程で太くなる
- ・ 毛周期が伸びたことで濃い毛が生えやすくなった
- ・ レーザー機器の使用により発毛組織が活性化した

<硬毛化になりやすい人の特徴>

- ・ 体毛が薄い人

産毛はレーザー機器に対する反応が弱く、ダメージを与えるはずのところを反対に毛根が活性化してしまうために、硬毛化しやすいのです。

- ・ 毛根が皮膚の深い場所にある人

毛根の位置が深いほど、レーザーが届きにくくなります。うまく照射できなかった場合、逆に発

毛組織を活性化させてしまうおそれがあります。

- ・体毛の密度が高い人

毛が密集している部位にレーザーを照射すると、レーザーのエネルギーが均等に当たらずに、きちんと照射できていないムダ毛が出てくる場合があります。照射が不十分な毛は、硬毛化してしまう可能性も高くなります。

- ・ピルを内服している人

<硬毛化しやすい部位>

- ・肩
- ・背中
- ・お尻
- ・二の腕
- ・襟足（うなじ）
- ・フェイスライン

<硬毛化になる確率>

世界規模のデータでは7~8%ですが、日本のクリニック統計では1%程度で、硬毛化になりやすい人は「100人に1人」の割合です。

世界と日本の統計でこれだけ差があるのは、統計時に使用していたレーザーの違いや、毛質や肌質に違いがあるからだと考えられます。欧米人に比べ日本人の毛は黒くメラニン色素が濃いため、硬毛化のリスクは世界統計よりも低いとされています。

<硬毛化した場合の一般的な対処法>

- ・自然に治るまでレーザーを照射しない

自然と毛の生え変わりのサイクルを待つことで徐々に薄くなるのを待ちます。しかし、時間の経過を待っても硬毛化が治らないケースもございます。放置した結果、元の毛に戻ります。硬毛化した毛が脱毛されるわけではございません。

- ・照射するレーザーの出力を上げる
- ・アレキサンドライトレーザーからヤグレーザーに変更する。

硬毛化した毛かどうか見分けるときは、「周囲の毛と比較して、一部分だけ他の毛と比べて硬く濃くなっているか」を確認してください。毛質が明らかに違う部分があれば、硬毛化している可能性が高いといえます。

硬毛化が疑われる場合は医師の診察を行いますので、看護師にご相談ください。

施術前の注意事項

- ・やけどを起こす可能性があるため、施術前後1か月間の日焼けは控えてください。
- ・施術前後3日間はトレチノイン、ハイドロキノン、ニキビ治療外用薬、ピーリング効果のある石鹸と化粧品のご使用を中止してください。
- ・施術部位の毛抜きは行わないでください。毛抜き中止から最低でも1か月は施術をお受けいただけません。

施術前準備

安全で効果的な施術をお受けいただくため**事前の剃毛**をお願いいたします。

剃毛が不十分な状態での照射はやけどのリスクを高めることになるため、レーザーを十分な出力で照射することができません。

施術前日に、照射予定の部位を産毛も含めしっかりと剃毛してからご来院ください。

剃毛の目安

- ・ 目視で確認して全く毛がない状態
- ・ 触ってざらつきが全くない状態
- ・ 毛の長さは1ミリ以下



剃毛のポイント

✂ 電気シェーバーがおすすめです

カミソリは皮膚に直接触れて毛を剃るため、お肌の角質を一緒に剥がしてしまいます。

また、毛抜きなどで毛根ごと抜いてしまうとレーザーが正常に反応せず、施術の効果を得ることができません。

そのため、安全に剃ることができる、電気シェーバーの使用をおすすめします。

✂ 毛足が長い場合は電気シェーバーの歯に絡まる可能性があるため、ハサミなどで短くして切ってから剃毛してください。

✂ シェーバーは小刻みに小さなストロークで使用すると剃りやすく、剃り残しや怪我のリスクも軽減できます。

✂ 剃毛後は保湿を行きましょう

剃毛後のお肌はデリケートな状態で、乾燥したり荒れたりすることがあります。

レーザーの照射に向けて、お肌のバリア機能を保つため、剃毛後はしっかりと保湿を行い、お肌内部の水分をキープしましょう。

施術当日

- ・ご予約時間に間に合うようご来院ください。
- ・電気シェーバーを必ずお持ちください。
- ・施術前に看護師がクレンジングを行います。通常のクレンジング剤では落ちにくいお化粧品はお控えください。
- ・化粧水、乳液、日焼け止めのご用意がございました。

施術後の注意事項と自己ケア

- ・治療当日はシャワー浴とし、熱いお湯を照射部位に直接かけないようにして下さい。
- ・治療当日は、多量の飲酒は避けて下さい。
- ・シミやそばかすなどは、照射直後～数日で濃く浮き出るものがあります。
洗顔や入浴を繰り返すことで、2週間程度で自然に脱落します。
無理に擦ったり、剥がしたりしないで下さい。

- ・炎症が引かず、痒みや熱傷等の症状を呈した時は受診をお願いいたします。
- ・治療期間は強い日焼けを避け、保湿剤や日焼け止め（SPF30以上）を使用して、スキンケアを行って下さい。